

受付日	提案テーマ	提案内容	主管課の考え方や処理方針	主管課
3月7日	熊取町での共働き世帯の子育てについて	<p>・病児保育が不十分</p> <p>・就学前の預かり保育が不十分</p> <p>・小児科が少ない</p> <p>・保育料が高い うちは共働きですが、上の子が小学生のタイミングで下の子ができました。仕事復帰のタイミングで保育園にいとると、何のために働いてるかわからないくらいのかかり高額な保育料になります 三人目も欲しいですが、学童利用料や保育料払っていくのはツラく諦めれるしかありません</p> <p>・ならし保育 仕事復帰のため子どもを小さい頃から保育園にいれなくてはいけないんですが、心配なのでならし保育を希望して相談しましたが、熊取町では行っていないとの事で驚きました</p> <p>・子ども医療費 15歳までと言う事に驚きました</p> <p>保育料の補助や、ならし保育、子ども医療費はいくらでも他の行政で行っていることなのに子育てのしやすさを謳ってる熊取町が行っていない事に驚きを覚えました</p> <p>熊取町に引っ越してきたんですが、以前住んでいた所は上記の全てにおいて全く不満に思うことはなかったので、あまりの違いに引っ越してきた事を少し残念に思います</p> <p>熊取町の子育て支援は他府県や他の自治体と比べていったいどこが優れているんでしょうか??</p>	<p>1. 病児保育が不十分 町内の保育所等では、町立、民間のほとんどで看護師を配置し、登園後に体調不良となった園児を預かる体調不良児対応型の病児保育を実施しています。 さらに、令和3年1月25日からは、貝塚市との広域利用により、川崎こどもクリニック病児保育室リトルスターを安価(3000円→2000円)に利用できるようにしており、園児が病気で保育所等を利用できない場合への対応も図っております。</p> <p>2. 就学前の預かり保育が不十分 町内のすべての民間の認可保育所では、在園児以外の子どもの保育受入を行う「一時預かり事業」を行っております。 また、町内の民間認定こども園でも、1号認定の園児については、「一時預かり保育(幼稚園型I)」を実施しています。</p> <p>3. 小児科が少ない 町内では、小児科を診療科目とする医療機関の立地が近年増加し、現在、3つの医療機関で診療を受けていただくことができます。 また、泉佐野市以南の3市3町が協力し、泉佐野市内にある「泉州南部初期救急センター」の運営を通じて、小児の初期救急医療体制を構築しています。 地域において子どもを安心して生み育てられる環境づくりは大切と考えており、通常、救急の両面で、前述のとおり小児科医療の需要に対応しています。</p> <p>4. 保育料が高い 本町の保育料は、町の条例等で定めておりますが、国が規定する基準の7割以下に減額しているなど、低年齢児の保護者の負担軽減を図っています。 3人目もお考えとのことですが、一定の条件を満たす場合は、3人目の保育料は無償になります。 また、学童保育所の保育料については、2人目以降は、半額となっております。</p> <p>4. ならし保育 ならし保育については、入園決定後に、各園で、子どもの状況等について保護者の方と相談しながら、無理なく集団生活へ適用できるよう保育を実施するのが、一般的な考え方です。 例えば、育児休業からの職場復帰にあたっては、園、町行政だけでなく勤務先における保護者の方への柔軟なご対応も必要不可欠となっております。 町立保育所では、ならし保育とは異なりますが、保護者の希望や子どもの状況等にに応じて、保育の実施(時間)について柔軟に対応しております。 ご提案の内容につきましては貴重なご意見として、今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p> <p>5. 子ども医療費 子ども医療費助成の対象年齢の引き上げは、将来にわたり持続可能な制度として維持していくためにも、財源確保を含め慎重に検討する必要があるため、これまでも段階的に行ってきた経緯がございます。 医療費助成の対象年齢の引き上げは、特に近年、18歳年度末まで引き上げる自治体が増加しており、大阪府内では、1月現在で6割以上を占めております。 これらの状況等を踏まえて検討を重ねた結果、本町でも、令和4年10月から18歳年度末まで引き上げるべく、関係条例や必要な予算案を、3月議会に提案しているところです。</p> <p>本町の子育て支援については、共働き世帯の働きやすい環境づくりに努めるべく、保育に関して申し上げますと、年度当初の待機児童ゼロ、一部の民間園での休日保育や長時間延長保育の実施などを展開しており、学童保育に関しては、多様な就労形態への対応として、夏休み等の長期休業期間と土曜日の午前8時開所や、長期休業期間限定の学童保育所の開所などを展開しています。 引き続き、妊娠・出産期から子育て期にわたり、きめ細かな子育て支援の充実に努めてまいりますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>	保育課・子育て支援課・保険年金課